

令和7年度（2025年度） 防府市立国府中学校 学校経営ビジョン

【山口県の教育目標】

未来を拓く たくましい「やまぐちっ子」の育成
やまぐちっ子のすがた

- ★ 高い志をもち、未来に向かって挑戦し続ける人
 - ★ 知・徳・体の調和のとれた生きる力を身に付けるとともに、他者と協働しながら力強く生きていく人
 - ★ 郷土に誇りと愛着をもち、グローバルな視点で社会に参画する人
- 「3つの力」…学ぶ力・創る力・生き抜く力
「3つの心」…広い心・温かい心・燃える心

【防府市教育のめざす姿】

〈めざすまちの姿〉・・・「教育のまち 日本一」

〈めざす人の姿〉

- ・学びを楽しみ、変化に立ち向かう人
- ・強さと優しさを備え、他者と協働して未来社会を創造していく人
- ・ふるさとを愛し、未来につなぐ人

〈基本目標〉・・・21世紀をたくましく生き抜く人材の育成

- 1 知・徳・体のバランスのとれた教育活動の推進
- 2 地域ぐるみの教育の推進
- 3 一人ひとりがきらめくキャリア教育の推進
- 4 安全・安心で、質の高い教育環境づくりの推進
- 5 郷土の文化・伝統の継承と創造の推進

【校訓】誠実・敬愛・勤勉

【学校教育目標】ふるさとを愛し 学ぶ意欲と豊かな人間性にあふれた 心身ともに逞しい生徒の育成
～一人ひとりの人権が保障され、生徒がいきいきと活動し、挑戦と感動のあふれる学校～

《生徒会がめざす生徒像》 ・失敗を恐れず、チャレンジする生徒 ・一生懸命頑張ることをカッコいいと思える生徒
・他者の意見を受容し、自らの意見をもてる生徒

【学校の課題】

- ① キャリア教育を基軸にした組織的な学校運営
- ② 小中・中高連携、及び地域や専門機関と連携した教育の推進
- ③ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実と、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、計画的・継続的な授業改善の推進
- ④ 個別のよさを生かし、伸ばす「発達支持的・課題予防的生徒指導」の推進
- ⑤ いじめや不登校の未然防止等に向けた取組の充実
- ⑥ キャリアステージを意識した教職員の人材育成
- ⑦ 学校の教育環境の充実
- ⑧ 地域の特性を生かすとともに、地域発展に寄与する教育活動の推進（学校運営協議会の活性化）

【生徒の状況】

- ① 学力の向上をめざす、まじめな学習態度
- ② 明るく素直で、勤勉な態度
- ③ 地域に貢献しようとする献身的な態度
- ④ 他者の意見を尊重する協力的な態度
- ⑤ 建設的な意見で集団を導くリーダー

【保護者・地域社会の願い】

- ① 安心・安全な学校生活の維持
- ② いじめのない良好な人間関係の構築
- ③ 生徒に寄り添う積極的な生徒指導の推進
- ④ 学習指導の充実
- ⑤ 開かれた学校（地域行事への積極的参加）
- ⑥ 豊かな人間性にあふれた生徒の育成
- ⑦ 何事にも粘り強く努力する生徒の育成

【教職員の願い】

- ① 将来に志（夢）と希望をもつ生徒の育成
- ② 困難に立ち向かう逞しい生徒の醸成
- ③ 自治的風土のある規律ある学校生活の実践
- ④ 学びに意欲的に向かう生徒の育成
- ⑤ コミュニケーション能力の育成

【めざす生徒像】

- ① 礼儀正しく、真心を持って行動する生徒 【誠実】
- ② 思いやりがあり、社会や人のために尽くす生徒 【敬愛】
- ③ 自ら学ぶ意欲をもち、心身ともに逞しい生徒 【勤勉】
- ④ ふるさとを愛し、ふるさとから愛される生徒 【地域貢献】

【めざす教職員像】

- ① 生徒を認め、ともに伸びる教職員
- ② 使命感をもち、専門性を高めよう教職員
- ③ 活力に満ちた、実践力のある教職員
- ④ 生徒・家庭・地域から信頼される教職員

【めざす学校像】

【生徒】行きたい学校 【保護者】通わせたい学校 【地域】支えたい学校 【教職員】働きたい学校

【本年度の重点目標】

- ◆ 人間力を育むキャリア教育の推進
- ◆ 未来の創り手となるために必要な資質・能力を踏まえた、自ら学ぶ力（自立した学習者）の育成
- ◆ 家庭・地域と連携した教育の実践《コミュニティ・スクール》

【チャレンジ目標】

- ・元気にあいさつ、さわやか笑顔
- ・無言清掃で心を磨く
- ・和顔愛語（わけんあいご）
- ・授業開始3—2—1アクション

【学校経営の3つのビジョン】

- ① 生徒主体の活動に重点を置いた「挑戦と感動があふれる学校」を目指し、教職員一人ひとりの主体性や特性が生かされた心理的安全性が高い組織的な学校運営を推進します。
- ② 「キャリア教育」と「特別支援教育」の視点に立ち、「コミュニティ・スクール（地域連携・異校種間連携）」を柱とした「社会に開かれた教育課程」による教育活動を推進します。
- ③ 保護者、地域との深い信頼関係と連携・協働体制を構築し、その中で、生徒一人ひとりの「人間力（生きる力）」を育む教育を実践します。

★「繋がり」を大切にする学校運営

(1) 心理的安全性が高い組織的な学校運営の推進

- ① 教職員一人ひとりが、学校教育目標に基づき、生徒の夢の実現を図れるようにする。そのために、全教職員が、自身の専門性や強みを生かしながら、より組織的な活動や提案ができる学校・職場づくりに努める。(組織運営)
- ② 小学校及び高等学校との連携を強化し、生徒一人ひとりが学びを連続・発展させることができるようにする。(異校種連携)
- ③ 自他の人権を認め、尊重し合う心の醸成を図り、絆を大切にする学校・地域づくりに努める。(安心・安全な居場所づくり)

(2) 社会に開かれた教育課程の実現

- ① 社会が求める人材の育成を目指して、発達の段階に応じて、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた継続的な授業改善に努めるとともに、体験活動や探究的な学び(活動)を計画的に仕組み、生徒の主体的に学びに向かう力(自立した学習者)の育成を目指す。
- ② 各教科、総合的な学習の時間、特別活動の中に、人権教育、道徳教育、特別支援教育、キャリア教育、国際理解教育、情報教育等の視点を持ち、今日的課題に対応した教育課程(社会に開かれた教育課程)を編成し、実施する。
- ③ 地域の人的・物的資源(企業・自然・伝統・文化等)を教育活動に活用し、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む

(3) コミュニティ・スクールの推進

- ① コミュニティ・スクールの取組を通して、ふるさとへの愛着を深めさせる。
- ② 生徒一人ひとりが自身の役割を理解し、相互のつながりを感じることができる主体的・創造的・協働的な活動の時間(場面)を設け、感謝や思いやりなどの豊かな心を育む。
- ③ 学校・保護者・地域と連携・協働を促進し、学校及び地域の課題解決に向けた活力ある教育活動を展開する。

OECD「ラーニング・コンパス(学びの羅針盤) 2030」

より良い未来の創造に向けた変革を起こすコンピテンシー

新たな価値を創造する力

責任ある行動をとる力

対立やジレンマに対処する力

「生徒は自分個人のウェルビーイングを求めるだけでなく、その仲間、家族、コミュニティ、それから地球のウェルビーイングにも配慮するように学ぶことが期待されるのです。」

OECD Learning Compass 2030 仮訳から抜粋

2 社会的自立をめざすカリキュラム構成のための条件整備

社会的自立に向かって

